

蔵書目その五 邦人法帖その一

中野, 三敏
九州大学助教授

<https://doi.org/10.15017/16292>

出版情報 : 文献探究. 5, pp.74-81, 1979-12-05. 文献探究の会
バージョン :
権利関係 :



蔵書目その五 邦人法帖 その一

中野三敏

凡例

- 一、書名は、原題簽の備ゆるものは題簽名により、題簽の欠落するものは内題、見返し題、巻頭題辭等によつた。その場合前者は(外)、後者は(内)(見返し)(題辭)等と注記した。編者の推測による書名は「」を以て示した。
- 一、書型は大本↓「大」、半紙本↓「半」、中本↓「中」、小本↓「小」の如く略記した。また帖仕立のものは大略右に準拠して、大本型以上の大ききものは凡て「大型帖」と記した。
- 一、版面の種類は一応凸字版、左版、正面摺にわけたが、この認定は甚だ自信がない。その他肉筆はその旨を記した。
- 一、全体を大きく「集帖」と「単帖」に分け、更に唐様と和様に分類し、それぞれの中で書の専家と儒者文人を区別し、それぞれ個人別に纏めた。なお和刻法帖と論書とを末に付載する。
- 一、由來法帖は習字の為のものであるが、編者蒐輯の目的がそこに無いこと、編者の悪筆を御存知の向きには言はずとも知れぬ。まさしく蒐輯癖のしかりしむる所。玩物喪志の最たるものである。僅かに理由らしきを並べれば、一に木板本の美しさを最大限に示し得ること、二に甚だしく廉価であつたこと(これが最大の理由か。ともかく大半は三百円から五百円の間であつた)、三に文人儒者の序跋類を多く備えること等々。

集帖

- 一、和漢能書筆林(外) 凸字版
大一冊(中巻ノミ存)、綠色毘沙門格子蔓唐草等型押し模様入り表紙。尊圓、尊朝、尊純、行能、文覚、解脫、大橋長左衛門、建部伝内、羲之、東坡、枝山、太宗、鍾繇、子昂、慶安頃の板か。
- 二、洛陽名筆集(内) 凸字版
大一冊(上下巻合綴) 改装。延宝二年正月永田長兵衛板。藤木甲斐、蓮光院、龍善院、春深、北小路宮内、堀江治部、鳥山巽甫、荒木素白、大石道教、佐々木志須磨、北向雲竹、岡尾正恵、村井了設、筒井白雲子(以上上巻)、石川又山、河口由慶、那波木菴、内常、草香、尾片宗鑑、平野仲菴、八木利斎、寺田無禪、西池備中、水尾民部、米川常伯、藤田友閑、岡根喜兵衛、西村方石、恵以、宗達(知恩寺)(以上下巻)
- 三、^{増補}洛陽名筆集(外) 凸字版
黒表紙、大一冊(下巻ノミ存)。二と同板なれど、書林名から「永田」の二字を削る。
- 四、本朝名公墨寶(外) 凸字版
緑色蜻蛉型押模様入り表紙、大三巻二冊、但し上中巻合綴本と下巻のみの本との撮合せ本。下巻は青表紙、ヤ、後印で延宝三年三月平野屋佐兵衛板、の刊記をもつ。初印は正保二年刊、上・中は初印本であろう。弘法大師、道風、行成、定實、行能(以上上巻)、伏見院、後伏見院、尊圓、尊道、尊鎮、尊朝、尊純、信基、光悦(以上

中巻 惺々翁 (下巻)

五、〔三家消息〕 前田因南模刻

藍色表紙、大空版(月・星のニ巻ノミ存)。各巻外題と異にし、「定家流消息目録」「光悦流消息目録」とある。元禄十一年孟春刊。出雲寺和泉樓板。前田因南跋。

六、猿橋碑銘 (見返し)

左版 四行(借・行・草・篆) 大一冊、薄墨色表紙、見返しに「峡中ノ猿橋碑銘ノ文昌堂」。宝曆十一年九月江戸大和屋孫兵衛板。扉に亀玉源守定画の陰刻の猿橋図あり。宝曆五年十月十五日鳴鳳御撰文、関恩恭篆額、東川平芝之書。碑陰文、石川茂康撰文、平芝之書。諸家贈文、蘭亭高惟馨文、頤翁尚玄融書。筑波石正狩文、深川親和書、筑波作詩、天姥松敬和書。龍門劉維翰跋、華岡藤益道書、熊耳餘兼裕跋、謙堂平明雅書。龜山松崎惟時跋、天姥松山敬和書。

七、鶴書磚法帖 (外)

金福道人輯 左版 大一冊(上巻ノミ存)、黄色表紙。獨立、雪山、蘿山、但徠、南郭、玄沢、高天濟、祇南海、梁蛻巖、高庵、烏石、平杯惺信、南禪寺魯山、高顯齋、関恩恭、伊藤蘭嶼、新興蒙所、堀南湖、山県周南

八、鶴書磚法帖 (色)

左版 原表紙欠、大一冊(上巻ノミ存)。六と同板なるも堀南湖迄を収める。

九、和漢石公法帖 (外)

書苑齋武子輯 左版 薄茶表紙、中二冊(上中巻二冊ノミ存)。明和八年春、松窓主人(関)序。上巻は中國諸家八十八家、中巻は日本諸家七十五家を収む。尚上巻末に十丁にわたる中國諸家三十三家の略伝及び書法伝派図等を収める。

十、和漢石公法帖 (色)

書苑齋武子輯 左版 薄茶表紙、中三巻三冊。八と同板なるも、上巻には序文、凡例無く、目錄も改刻す。巻末十丁の略伝も無い。中巻は八と同板。下巻は本朝近世諸家四十五家を収める。

十一、盛世翰藪 (外)

杜徴中江松窓輯 凸字板

大二冊(巻一・二ノミ存)、薄茶表紙。寛政乙巳(乙卯)七年か丁巳(元享)の誤記か)自序。巻一當代公卿六家、巻二當代平安儒林者宿十七家を収む。藤原成序。

十二、(新大年雙鶴) 墨帖目録

勢南松坂獅子吼堂藏板。親帖十巻、子帖十巻、孫帖十巻、曾孫帖七巻、以上三十七巻目録。十三、世尊寺法書(内) 町田(延陵)清興審定 正面摺布装折帖一帖(第五巻一冊ノミ存)。寛政八年六月刊、七代伊經、八代行能。

十四、東都集古帖 (見返し)

建齋田章摹摺 原拓 大一冊。縹色表紙。石川梧堂見返し題、清水赤城序。文政六年十二月藤原和榮序。同十一月自序。同年同月自跋。同年同月田益跋。江戸現存の寺社題額鐘銘招牌等の名筆百十三を目錄に記し、その内の若干点の原拓を収める。

十五、和漢歴代名公法帖 (外)

書苑齋武子輯 左版 中三巻二冊。文化四年刊。大坂塩屋喜助板。九と同板の後印なるも、九の上・中二巻を一冊にして乾の巻とし、下巻を坤の巻とする。尚、九の下巻は全廿七丁に唐様書家四十五家を収めるが、この坤の巻は更にその後十五丁分が増え、和様書家三十五家分を収める。

十六、(咸宜園書畫帖)

正面摺 中型折帖一帖。板表紙。古竹園主人岳書、戊午(安政五)夏日岳画、廣瀬謙書、淡窓書、千原誠書、安政、戊午夏広瀬林外書、柴秋邨書、岳画、青邨書、榮南海書、長三洲書。

單帖

(1) 僧獨立 一、〔三鉢詩絶句〕 肉筆帖 二鉢(練・草) 一卷。巻末に「甲午(承応三年)垢月萍寄道人書於長崎旅舎」。七絶

(2) 佐々木玄龍

二、玄龍書八景詩并歌(外) 左版 五杯(楷行・草・八分・仮名)

大一冊・縹色表紙。「依知己之求揮穎于東武之倚居焉
延宝改元癸丑之冬 佐々木玄龍」。天和三年仲秋日刊。

(3) 佐々木文山

三、三體詩絶句(外) 左版 草書

大一冊・紺色表紙。見返しに「三體詩絶句/雲凌文山草
書」。七言詩。

四、芸窓一閑(外) 肉筆帖 四杯(楷・行・草・隸)

大型折帖一帖。大字。巻末に「文山(墨筆堂文山)
中書楷訣(外) 肉筆

五、中書楷訣(外)

大一冊・紺色表紙。奥に「中書楷訣一帙為墨池筌蹄附焉
/元禄丁丑(十年)八月穀旦佐々木文山子/林雲中雅伯」
芳立網著「中書楷訣」の写。

(4) 岡林竹

六、筆苑摘華(英) 左版 草書和文章

大一冊・紺色表紙。「元禄七甲戌載孟夏之吉岡林竹子春
跋。

(5) 佐々木志頭磨(松竹堂人・惠念)

七、志頭磨墨妙(外)

大一冊・薄墨色市松格子模様入り表紙。奥に「右諫院題
名記為友輩□書/松竹堂人」。元禄十一年正月・河勝五
郎右衛門板。

八、佐々木志津磨筆格(外) 肉筆書法

大型折帖一帖。見返しに「古志津磨佐々木専念翁傳來十
六點畫令傳授者也」とある。人見少筆旧藏。

(6) 佐々木照元

九、(楷書千字文) 淡墨左版 楷書

大二冊・薄茶色表紙。「正徳壬辰(二年)歲段月中浣昭
元書」。京、長崎屋庄兵衛、唐本屋佐兵衛合刻。

(7) 赤井得水

十、草千字文(外) 左版 草書

大二冊(乾坤)・薄茶色地に「なぞ空押し模様入り表紙。

「宝永三丙戌五月中旬書武陽散人赤井明啓得水」。出雲
寺和泉椽板。

十一、(草千字文) 淡墨左版

大一冊(坤)・水色地に「なぞ空押し模様入り表紙。十の
坤一冊。摺りはこの方がや、早い。

十二、時用文案(英) 左版 草書和文章

大型横本一冊・栗皮色表紙。微通堂耕水跋。日本橋通一
丁目森田忠兵衛板。巻末に得水法帖目録半丁あり。筆法
蒙引二巻、獻弄法帖一、李東郭跋、中字千字文一、大字
千字文五巻、同文異舛、林祭酒序二、蘭亭記草書一、七
部を記す。

(8) 寺井養拙

十三、獲麟辭・愛蓮說・東銘・草書并和歌 左版 行草二杯

大(縦細)四巻四冊・茶色表紙。「寛永己丑(六年)春
草庵子共」。享保丁未(十二)夏五月上幹 普齋岡子短
跋。享保丁未五月、浪速河内屋宇兵衛板。

(9) 井手正水

十四、春山法帖(外) 淡墨左版 行書

大二冊(前後)・紺色表紙。「元禄十三年四月下旬書」。
元禄十一年臘月僧智門序。中村氏勝忠彫。日東帝畿宣風
坊香川勝由藏板。

十五、詩從帖・唯心帖(外) 左版 草書

大二冊(前後)・紺色萬曆草型押し模様入り表紙。「元禄
己卯(十二)十二月下旬書」。宝永丁亥(四)仲秋僧智
門跋。

十六、(詩從帖・唯心帖) 淡墨帖左版 草書

大二巻二冊・縹色萬曆草型押し模様入り表紙。十五と同
板の淡墨摺り。この方がより早い板か。但し智門跋は無
し。

(10) 常安

十七、古渡帖(外) 淡墨左版 草書

大一冊・小豆色表紙。跋末に「享保西(二か十四)冬の

日洛東快楽祥にちりしくのや

(11) 僧南谷

十八、南山遺響(外) 左版 行書舩

大一冊、縹色表紙。享保十九年臘月念一日南山起遍序。義剛後識。跋末に「享保甲寅(十九)雪月上幹大通南谷梁譚拜書」。京醒井魚店上ル丁。丁字屋左兵衛板。水戸侯所藏空海道稿及び贈答篇。

(12) 北島雪山

十九、愛蓮説(内) 正面摺 行書舩

大型折帖一帖 五折。卷末に「雪山人書」。卷首に「南雅堂定帖」とある。

廿、水嶋記(外) 正面摺 楷書舩

折帖一帖 但し原字は冊子なるを折帖に改装。題簽下部に「南雅堂」とあり。卷末に「雪山人書」。元禄二年正月書。都城の南の海中にある水嶋の由来を綴る。雪山撰文。

(13) 高天游

廿一、游馬山温泉記(内) 左版 草書舩

大一冊、薄茶色表紙。「崎陽高月軒元泰識并書」。東郊平鱗文付。宝曆癸未(十三)五月清虚道人俊識。同年五月廿三日平鱗跋。同年夏藤文恭子章跋。

(14) 細井広沢

廿二、(山抱帖) 左版 草書舩

大一冊、薄茶色表紙。「歳戊申(享保十三)秋七月十日九日廣澤藤知慎書於東都青山奇勝堂南軒時年七十二」。廿三、千字文(外) 左版 行書舩

大二卷二冊、薄茶色表紙。「甲辰(享保九)春二月廣澤書」。享保壬子(十七)年二月、太凡石之清叔潭跋。上巻は原版、下巻は明和九年再刻本の撮合せ本。下巻奥附に「元版享保十七年壬子五月ノ江都書肆嵩山房 發行ノ明和九年壬辰七月ノ再刻 小林新兵衛ノ須原茂兵衛 發行」

廿四、千字文(外) 左版 草書舩

大二卷二冊、薄茶色表紙。享保壬子(十七)歳夏再五月三日廣澤老漁書於思貽齋。享保十八年夏、赤城田章仲文父跋。享保十九年八月、嵩山房須原新兵衛發行。

廿五、百聯抄(見込) 左版 行書舩

大一冊、薄茶色表紙。甲寅(享保十九)六月、廣澤知慎書。享保甲寅秋八月刻于井清三生白堂。日本橋南二町目戸倉屋喜兵衛板。

廿六、(飲中八仙歌) 左版 行書大字

大一冊、薄茶色表紙。享保乙卯(二十)端午前日書於青山奇勝堂廣澤慎時年七十八

廿七、愛蓮説(外) 左版 行書舩

大一冊、薄茶色表紙。享保乙卯(二十)十一月望、田章赤城跋。享保二十年冬、江戸西村源六、京、同市郎右衛門板。

廿八、禪林役牌(外) 左版 楷書大字

大一冊、薄茶色表紙。「丙午(享保十一)歳春正月為主鶴禪人書於思貽齋夕窓 廣澤居士」。元文三年仲夏模刻于白雪堂。

廿九、(醉翁亭記) (題字) 左版 行書舩

大一冊、薄茶色表紙。「己酉(享保十四)秋八月晦日書於青山思貽齋夕陽窓下 廣澤老人」。勢州呂直道跋。春秋堂吉文字屋治郎兵衛藏板目錄あり。廿三丁一丁欠。

卅、醉翁亭(外) 左版

大一冊、縹色表紙。見返しに「廣澤先生ノ醉翁帖ノ東都春秋堂藏」。己酉秋八月晦日書於青山思貽齋夕陽窓下広沢老人。寛延己巳(二年)十月既望、醫官潮月主人跋。同年十一月、滕忠克跋。勢州呂直道跋。同年冬、東都醫官堀本寛好跋。寛延二年己巳十一月、大坂吉文字屋市兵衛、江戸吉文字屋次郎兵衛合刻。文政六年正月大坂河内屋長兵衛求板。板は廿九と同板。廿九はこの書から跋三則と奥附を欠く元板であろう。

廿一、「唐詩帖」左版 四帖(楷行草八分)

大一冊、薄茶色表紙。「乙卯(享保廿)四月廣澤慎書」。
寛延三年十二月香山膝廣慶跋。太保堂奥村喜兵衛藏板目録一丁半あり。

廿二、「唐詩帖」左版 三帖(楷行草)

大一冊、薄茶色表紙。廿一と同板なるも、巻頭三丁分(八分帖)欠。巻末、廿一とは別の奥村喜兵衛藏板目録半丁あり、中に「唐詩帖(唐詩帖)」とあるのがこゝか。とすれば巻頭八分帖三丁の欠は意圖的に削除されたものであ

廿三、醉別帖(外) 左版 行書

大一冊、薄茶色表紙。「丙午(享保十一)歲廣澤釣叟書於思貽齋」。宝曆六年仲秋門人老圃古郡信精跋。宝曆六年九月、江戸須原屋茂兵衛板。

廿四、泥花帖(外) 左版 草書

大一冊、薄茶色表紙。「己未(元文四)臘月廣澤書」。明和元年十月崇古堂主人馬世章跋。江戸須原屋茂兵衛。近江屋源七板。

廿五、廣澤大和文(外) 凸字板 仮名

大一冊、縹色布目表紙。「正徳甲午(四)の秋八月の末つかたしる人の仮名文字つくりてと此帖をよせをこせければ不堪のしゆさけちおもへとも知識の請にまかせ侍るにむ」。明和七年庚寅九月彫成、寛政九年丁巳四月求板。東都書肆蔓延堂下谷御成小路足利屋勘六板。

廿六、飲中八仙歌(外) 左版 草書

大一冊、薄茶色表紙。廿六とは別本。
廿七、「倚尺牘帖」左版 草書

廿八、「俠者帖」左版 草書

大一冊、紺色表紙。「因録旧作教首(庚申(元文五)春二月鳥石源君岳書」。元文五年四月西涯藤堂豊昌跋。

廿九、画龍引(外) 左版 草書

大一冊、薄茶色表紙。「画龍引贈忍海上人服元喬 庚申(元文五)閏七月赤羽源君岳書」。文化九壬申裁帖洗日 江源兵衛一板。

四十、功力氏鏡銘(外) 左版 楷書

中型折帖一帖、濃緑絹布装。服元喬撰文。源君岳書。談雪主人光頭陀跋(元文庚申秋田實御書)。

四十一、鳥石山人傳(外) 左版 楷書

大一冊、縹色表紙。見返しに「莊子謙先生著/鳥石山人傳/中臺 兩先生校」。文末に「友人莊子謙為余著余書与家姪時元文庚申(五)冬十二月也 藤原景校刻」。

四十二、「青蘿館六詠」左版 行書

大一冊、表紙欠。秋麻谷序。服子遷、鶴士寧、秋雲洞、莊子謙、高子式、秋萬菴作詩。源君岳書。元文庚申(五)歲七月廿三日鷺洲高美啓跋。元文五年江戸小川彦九郎板。

四十三、松下神祠記(外) 左版 楷書

大一冊、元表紙欠。莊允益撰文。「寛保改元辛酉五夏之月男鳥石君岳謹書」。鳥石家父母祭神祠記文。

四十四、雲月樓記(外) 左版 楷書

大一冊、薄茶色表紙。秋魏堂撰文。寛保癸亥(三)歲五月鳥石山人書贈天猊師。宝曆貳壬申晚冬、江戸萬屋清兵衛求板。

四十五、草訣百韻歌(外) 左版 行書

大一冊、茶色表紙。「延享二年乙丑冬十二月十八日書於青蘿館狼狽平定震」。秋文付き。東都山城屋茂左衛門板。

四十六、行書唐詩選(外) 左版 行書

大三冊(上中下)、縹色紙。型押し模様入り表紙。見返し「鳥石先生/行書唐詩選/浪華書林 發兌」。
「丙寅(延享三)夏六月書於小蘆山亭一身田大法主臺下鳥石葛辰」。浪花書鋪山口又一、梁瀬傳兵衛、柳生介七板。判副氏京都烟九兵衛。巻末に崇高堂河内屋八兵衛藏

板目錄一丁附。

四十七、行書唐詩選(五言絕句)(外) 左版

大二冊(中卷欠)薄茶色表紙。四十六と同板なり。奥

付(東郡書林小川彦九郎、西村源六板と)。卷末文刻

堂西村源六藏板目錄二丁附。

四十八、論書帖(外) 左版 楷書

大一冊、縹色表紙。「右蔡君謨論書 延享丁卯(四) 九

月十日書呈今張世子」

四十九、百日帖(外) 左版 楷書大字

大一冊、薄茶色表紙。「延享丁卯(四) 九月九日鳥石辰

書示源蟹密」。延享丁卯十二月須原屋守兵衛板。

五十、杜少陵秋興八首(外) 左版 楷書

大一冊、黃色布目表紙。「丁卯(延享四) 歲冬為源子孟

書鳥石葛辰」。江戸村田小兵衛、須原平左衛門板。

五十一、前赤壁賦(外) 左版 楷書

大一冊、薄茶色表紙。「丁卯(延享四) 冬鳥石辰書與平

百里」。享和二年初春江戸和泉屋在次郎求板。

五十二、新刻行書千字文(外) 左版

大二冊(上下)、黃色布目表紙。雲型散らし型押し模倣入り

表紙。「戊辰(寛延元年) 四月孟夏鳥石葛辰書於懷橋堂

中奉贈今張侯」。寛延二年原板、寛政十二年再板。江戸

須原屋平助、京須原屋平左衛門板。

五十三、「永井公碑」 左版 楷書

大一冊、縹色布目表紙。「延享戊辰(寛延元年) 歲夏六

月豊白杵莊允益撰 鳥石葛辰書」。寛延戊辰冬備後秋一

源大湧跋。寛延元年霜月大坂大野木市兵衛板。

五十四、應御帖(外) 左版 楷書

大一冊、薄茶色表紙。服元喬撰文。葛辰、不實聞、木希

元作詩。鳥石葛辰書。寛延元年冬東嶽菅斐御跋。

五十五、蜘蛛端研記(外) 左版 楷書

大型折帖一帖、薄茶紙裝。戊辰(寛延元)之春南郭服元

喬撰文、莊允益作銘。鶴孟一作詩。鳥石葛辰恭書併獻東

殿大玉殿下。戊辰冬秋善亮跋。

五十六、「留紅帖」 左版 草書

大型折帖一帖、薄茶色絹布裝。「鳥石葛辰書於六條飛雲

閣獻一身田大法主殿下時寛延庚午(三) 秋八月也」

五十七、秀天靈社碑銘(外) 左版 楷書

大一冊、縹色布目表紙。「延享丙寅(三) 八月十二日儒臣

岡白駒奉命撰。宝曆二年三月書與河鱒丘 葛辰」。宝曆

二年初秋、風月堂莊左衛門刊。肥前塩田郷鍋島直淑公祠

銘。

五十八、酒徳頌(外) 左版 行書

大一冊、縹色表紙。「宝曆癸酉(三) 歲夏日書肆好文軒

(京秋田屋伊兵衛) 壽梓」。卷末に好文軒藏板目錄半丁

附。

五十九、讀書十六觀 左版 草書

大一冊、原表紙欠。「宝曆己卯(九) 臘月鳥石辰書贈金

龍道人」。陳繼儒撰文。

六十、墨妙閣記(外) 左版 楷書

大一冊、薄茶色表紙。宝曆癸未(十三) 九月鳥石撰文、

上山田寛書。明和元年十月望上山田寛跋。小野道風祭記。

明和元年冬江戸藤木久市、坪内茂左衛門板。

六十一、日東曲(外) 左版 二冊(楷、行)

大一冊、縹色表紙。宋景濂撰文。楷書末に「安永乙未(

四) 冬書贈天山師鳥石辰」。行書末に「安永乙未歲九月

鳥石辰書贈天山師」。文政元年七月大坂藤屋定七藏板。

六十二、草書千字文(外) 左版

大二卷合一冊綴。改裝。末に「時賢曆壬申(二年) 蒲月

初八日梅雨霽、消日居惇信於東維軒書」。宝曆五年六

月江戸文昌堂大和屋孫兵衛板。

六十三、「天門帖」 左版 行書

大一冊、薄茶色表紙。末に「消日居惇信書」

切 閑思恭

六十四、春江花月夜(分) 肉筆帖 八分糸

六一冊、薄黃絹裝。末に「享保乙卯(二十年)秋八月十七日 閑思恭書」

六十五、和文章(分) 左版 草書

大積本一冊、薄墨色小菊紋散らし型押し模様入り表紙。見返しに「戯蝶嬌華 / 中村惟徳題」。末に「宝曆壬申(二年)夏四月五日也 閑思恭」。宝曆八年正月十七日 門人中村惟徳跋。宝曆八年夏、京西村市郎右衛門、江戸西村源六、同喜三郎合版。

六十六、千字文(題釋) 左版 草書

六一冊、改装。末に「寶曆九年歲在己卯冬十月二日鳳岡閑思恭書於□黙齋南軒下与野士游」とある。乙未(安永四)八月川崎整儀跋。安永五年五月江戸前川六左衛門板・筆工中用斎宣陳子、刻師并龜年。

(18) 三井親和

六十七、「唐詩帖」 肉筆帖 草書

六一冊、路孝茶色表紙。末に「七十七歲親和」

六十八、愛蓮説(分) 肉筆帖 草書

大(縦細)一冊、薄茶色表紙。末に「龍湖親和」

(19) 龜田窮樂

六十九、「八分篆千文」 肉筆帖 淡墨

大二冊、葉袋紙表紙。末に「洛西隱者窮樂行年八十書」

七十、「八分篆千文」 肉筆帖 淡墨

大一冊(上巻欠)、薄茶色宝笥し型押し模様入り表紙。末に「窮樂散人書」

(20) 新興蒙所

七十一、草書千文(分) 左版 草書

大(縦細)天地二冊、卵黄色龜甲梅花散らし型押し模様入り表紙。乙巳(享保十)歲冬月穀且朱綾子章肉筆序。

七十二、「篆書帖」 正面摺 篆

大型帖一帖、改装。卷末に「興光鍾篆」

(21) 伏山黙隱

七十三、「漢隸千字文」 左版 隸書

大(縦細)一冊(上巻欠)、唐本表紙。末に「享保乙卯(廿)春正月書浪華森本修來」。享保廿年三月門人高玄同跋。

七十四、滕玉閣叙(題言) 肉筆帖 草書

大型折帖一帖、緞子裝。卷末に「明和歲次戊子(五年)霜月念四日常足道人書於浪華調古菴」

七十五、岳陽樓記(題言) 肉筆帖 行書

大型折帖一帖、緞子裝。卷末に「明和龍巢、戊子(五年)冬至日常足道人書時年六十有七」

(22) 泉必東

七十六、茶歌(分) 左版 草書

大一冊、紺色表紙。末に「泉必東書」。乾隆丙寅(延享三年)九月董可亭跋、同年秋沈草亭贈詩。水上市兵衛刻、大坂安井嘉兵衛板。

七十七、「和文章」 凸字板 草書

大一冊、薄茶色表紙。寛延戊辰(元)年十月赤羽阮虚御跋。大坂村上伊助板。

(23) 牧夏岳

七十八、夏嶽山人國字(分) 凸字板 草書

大一冊、紺色表紙。宝曆乙亥(五年)端午日鳴門田中草序。序末に「積小家塾藏」とある。和歌帖

(24) 大橋東堤

七十九、座右銘(分) 左版 草書

大一冊、紺色紙つらぎ雲型散らし型押し模様入り表紙。末に「明和戊子(五年)夏四月 東堤橋富書」

(25) 大雅堂

八十、大雅行書千字文(分) 左版 行書

大一冊、薄茶色小菊紋散らし表紙。末に「無名誌」。最終丁ノドに「享和癸亥(三年)平安書肆楠見甚左衛門梓人見少筆旧藏」

八十一、「行書千字文」 左版 行書

大一冊、元表紙欠。凡々八十と同板なるも、刊記が「享

和三元亥五月 京都書林 林伊兵衛」となる。こゝが初印か。

八十二、「淮水帖」 左版 行書 軀

大一冊、薄茶色表紙。末に「霞樵」。人見少華旧藏。唐詩帖。

八十三、大雅堂法帖(外) 左版 行書 大字

大一冊、卵黄色表紙。無署名(印のみ)。文化元年三月 京林喜兵衛、城戸市右衛門板。人見少華旧藏。五言古詩。

八十四、大雅行書般若心經(外) 左版 行書 軀

縦細大型帖一帖、薄茶色紙装。末に「池無名書」。辛巳(文政四年) 初秋竹窓黄跋。人見少華旧藏。

八十五、「般若心經」 左版 行書 軀

縦細大型帖一帖、鶯色絹装。凡三八十四と同板。人見少華旧藏。

八十六、般若心經(外) 正面摺 行書 軀

細帖一帖、薄茶色紙装。卷末「無名」「霞樵」の印のみ。八十四・八十五とは別板。や、肉細の字。人見少華旧藏。

八十七、「瀟湘八景帖」 正面摺 二軀(楷、行)

小型帖一帖、薄茶布目紙装。初丁に「霞樵字」とあり。文政十年六月尚書堂基次板。

(26) 趙陶齋

八十八、蓼求標題(外) 左版 楷書

大型折帖一帖、黄色紙装。末に「甲申(明和元年)春三月 陶齋養書」

八十九、蓼求標題(外) 左版 楷書

大一冊、黄色表紙。見返し「趙陶齋書/蓼求標題/文海堂梓」。卷末に文海堂敦賀屋九兵衛藏板目録半丁附。

九十、銅龍帖(外) 肉筆帖 草書 軀

大型折帖一帖、茶色緞子装。卷末に「丁亥(明和四年) 端午前二日息心」

九十一、雜説・愛蓮説(内) 正面摺 草書 軀

大型折帖一帖、板表紙。「雜説」末に「己丑(明和六年) 八月」。「愛蓮説」末に「陶齋」

九十二、浣沙帖(外) 肉筆帖 草書 大字

大型折帖一帖、濃綠色絹布装。卷末に「庚寅(明和七年) 臘月十七日枸杞園主人書于子璞」

九十三、「唐詩帖」 正面摺 草書 軀

大型折帖一帖、緞子装。末に「明和辛卯(八年) 二月中 旬陶齋書于自研齋中」。五絶。太田虹邨旧藏

九十四、新百家姓(内) 左版 楷書 軀

大一冊、薄茶色表紙。卷末に「天明五年歲在乙巳初夏十三日陶齋養書 時年七十三歳」。嘉永二年三月浪華藤屋 著七板。

九州大学助教